

学 年 5年3組

氏 名 坂下雫

住 所 北佐久郡軽井沢町長倉3734

電 話 0267-45-5189

学校名 軽井沢中部小学校

メールアドレス 中山 33nakayama-atsushi@sakuedu.or.jp

題 名 電気を大切に

本 文 20行程度

私たちはいつも電気を使って生活しています。例えば今は冬なので、エアコンを暖房モードにして電気を使ったり、季節関係なくテレビを見たりなど、私たちが思っている以上に電気を使っています。でもたくさん電気を使うということは、たくさん発電することです。

たくさん発電をすると、二酸化炭素を出してしまうなど、身の回りの様々なものも、電気を使いすぎることで地球温暖化につながるとされています。でも、使う電気やエネルギーの量を減らすことで、地球温暖化の対策にもつながる からです。それを知って私は、節電をしようと思いました。無駄な電気があったら自分から消すなど、できるだけのことをしました。少しでも地球温暖化を防ぎたいと思ったからです。でもそういうことをしていると、電気って結構使うんだなと思いました。ほかにも電気を使うとこんなことがあります。日本が使っている電気やエネルギーは、もちろん日本国内で作られ、わたしたちの家や学校などさまざまな場所で使われています。しかし「電気やエネルギーのもと」は、日本国内で手に入るものばかりではありません。また使い続けることでいつかはなくなってしまうものもあります。日本の電気やガスなどの多くは、そのもととなる資源（しげん）を海外からの輸入（ゆにゆう）にたよっています。もちろん、日本国内でも資源が手に入りますが、その量はとても少ないのです。資源は使えば使うほど少なくなっていきます。また海外で取れた資源を使っているのは、日本だけではありません。資源が取れる国で使うのはもちろん、他の国も輸入にたよっていることがあります。たとえばガソリンのもとである石油（せきゆ）は世界中でたくさんとれるわけではないですが、世界中の国で使われています。火力発電に必要な天然ガスや石炭、石油も同じです。無限（むげん）にあるわけではない資源を世界中で使い続けるということは、いつか資源を使い切ってしまうことになります。天然ガスや石油などと違い、再生（さいせい）できるエネルギーである「再生可能エネルギー」は、使いすぎてもだいじょうぶなのではないでしょうか。再生可能エネルギーには、太陽エネルギーや風力、水力、地熱、バイオマスなどさまざまなものがあります。どれも何度でもくりかえして使える、自然のなかにあるエネルギーばかりですが、わたしたちが使っている電気の多くはまだ火力発電などにたよっています。つまり再生可能エネルギーで作られた電気だけでは、

使いすぎてしまうと発電が追いつかないという弱点があるのです。このようなことが起きてしまうので、電気はとても大切なんだなと思いました。